

第10 少年相談

1 少年相談の推移

令和3年中の本県の少年相談受理件数は1,485件で、前年に比べ167件（12.7%）増加しています。

表10-1 少年相談の推移

(件)

	28年	29年	30年	元年	2年	増減数	増減率(%)
新規受理	4,364	4,160	2,152	1,318	1,485	167	12.7
保護者等から	3,623	3,613	1,863	1,172	1,277	105	9.0
占める割合(%)	83.0	86.9	86.6	88.9	86.0	—	—

2 内容別相談状況

令和3年中の本県の相談内容別では、非行問題が598件（40.3%）と最も多く、次いで被害問題が421件（28.4%）となっています。

表10-2 内容別相談状況

	2年		3年		増減数	増減率(%)
総数	1,318	構成比(%)	1,485	構成比(%)	167	12.7
非行問題	598	45.4	598	40.3	0	0.0
学校問題	23	1.7	40	2.7	17	73.9
家庭問題	173	13.1	198	13.3	25	14.5
交友問題	73	5.5	67	4.5	▲6	▲8.2
健康問題	22	1.7	22	1.5	0	0.0
家出	35	2.7	39	2.6	4	11.4
被害問題	331	25.1	421	28.4	90	27.2
刑法犯	46	3.5	60	4.0	14	30.4
いじめ	26	2.0	47	3.2	21	80.8
児童虐待	96	7.3	126	8.5	30	31.3
福祉犯	73	5.5	88	5.9	15	20.5
その他	90	6.8	100	6.7	10	11.1
その他	63	4.8	100	6.7	37	58.7

3 対象少年の学職別相談状況

令和3年中の本県の相談対象少年の学職別では、中学生が525件（35.4%）と最も多く、次いで高校生が413件（27.8%）となっています。

表10-3 対象少年の学職別相談状況

(件)

	総数	未就学	児童・生徒・学生				有職少年	無職少年	不詳
			小学生	中学生	高校生	その 他の学 他生			
3年	1,485	31	320	525	413	68	14	50	64
	構成比(%)	2.1	21.5	35.4	27.8	4.6	0.9	3.4	4.3
2年	1,318	16	280	537	301	53	20	55	56
	構成比(%)	1.2	21.2	40.7	22.8	4.0	1.5	4.2	4.2
増減数	167	15	40	▲12	112	15	▲6	▲5	8
増減率(%)	12.7	93.8	14.3	▲2.2	37.2	28.3	▲30.0	▲9.1	14.3